

平成18年度 第2回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成18年5月30日(火)
午後2時～午後3時
- 2 開催場所 宇都宮市役所 14A会議室
- 3 出席委員 15名
金子委員長, 齋藤副委員長, 福田副委員長, 尾花委員, 大塚委員
篠崎委員, 櫛淵委員, 山野井委員, 四宮委員, 大矢委員
鶴見委員, 梅園委員, 山口委員, 中島委員, 荒川委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 1名
- 6 議事
 - (1) 協議事項
家庭と地域の教育力向上に関する方策について(4回目)
平成18年度栃木県社会教育委員協議会理事及び評議員の選出について
 - (2) 報告事項
「文化振興基本計画」について
- 7 その他
- 8 閉会
- 9 発言の要旨

金子委員長	それでは、会議次第に基づき、本日の議事を進めてまいります。 まず、協議事項の「家庭と地域の教育力向上に関する方策について」であります。 今回の協議で、意見をまとめて、教育委員会へ提出したいと思っておりますので、ご協力をお願いします。 では、事務局から説明をお願いします。
事務局 (生涯学習課)	【説明】
金子委員長	事務局から、前回の会議のときと、会議後にあった意見について、どの

ように意見書の修正を行ったか説明がありました。

これで意見書については、委員の皆さまからの意見がすべて出尽くしたと考えておりますが、会議後に事務局へ連絡のあった意見がいくつかありましたので、これらの意見についてさらにご意見がありましたら、また修正案、語句修正など、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

齋藤副委員長

目次のところですが、「本市における主な取組と反省点」に「取組」がいくつかありますが、「り」と「み」が抜けていますので、修正したほうが良いと思います。

金子委員長

その他、語句修正などありましたら、お願いします。

金子委員長

それでは、『家庭と地域の教育力向上に関する意見書』につきましては、以上で協議を終了することにしたいと思います。

これまで4回の会議を経て、皆さまのご協力をいただき、まとめることができました。ご協力、ありがとうございました。

それでは、事務局に、急ぎ修正をお願いして、その間、引き続き次の議事に進みたいと思います。

そして、修正が終り次第、教育委員会へ意見書を提出したいと思いますのでよろしくをお願いします。

金子委員長

それでは、次の協議事項の「栃木県社会教育委員協議会理事及び評議員の選出について」を議題といたします。

事務局より、資料の説明をお願いします。

事務局

【説明】

(生涯学習課)

金子委員長

説明が終わりました。

栃木県社会教育委員協議会理事及び評議員については、いかが取り計らいましょうか。

鶴見委員

事務局案がございましたら、お伺いしたいと思います。

金子委員長

ただ今、鶴見委員から事務局案という意見がありましたが、事務局案はありますか。

事務局(生涯学習推進係長)

これまで、齋藤副委員長にお願いしておりましたが、平成13年度からは協議会の会長もお務めしていただいております、また今年度も会長としてお願いしたい旨、県から強い要望もあったことから、引き続き、理事

及び評議員として斎藤副委員長にお願いできるものであればと考えている
ものでございます。

金子委員長 ただいま、事務局から候補者名が挙げられましたが、いかがでしょうか。

一同 【異議なし】

金子委員長 ありがとうございます。
それでは、斎藤副委員長さんにお引き受けいただくということで、よろ
しくお願ひしたいと思います。

金子委員長 次に、報告事項の「宇都宮市文化振基本計画について」を事務局から説
明をお願いします。

事務局 【説明】
(文化課長)

金子委員長 ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問があればお願いします。

金子委員長 それでは、この件につきましては、以上でよろしいでしょうか。

一同 【異議なし】

金子委員長 それでは、『家庭と地域の教育力向上に関する意見書』の修正が終了する
まで、暫時休憩としたいと思います。

金子委員長 では、再開したいと思います。

事務局(生涯学
習課長補佐) それでは、金子委員長から、伊藤教育長へ意見書を手渡していただきま
す。斎藤副委員長、福田副委員長もご一緒をお願いします。
その他の委員の皆さまは、それぞれのお席でお待ちくださいますようお
願ひいたします。

金子委員長 それでは、『家庭と地域の教育力向上に関する意見書』について、提出
させていただきます。

宇都宮市社会教育委員の会議は、家庭と地域の教育力向上に関する方策
について、これまで4回にわたり意見の交換を重ねてまいりました。

本市においては、これまでも家庭と地域の教育力向上に関する施策事業
が展開されてきたところですが、いじめや保護者等による子どもの養育放
棄などの問題が顕在化するとともに、子育てに不安や負担を感じている親

が多い状況も窺えることから、心豊かでたくましい子どもを育てるためには、教育の原点である家庭教育の向上が必要不可欠であり、喫急の課題であると考えます。

また、子どもの育成には家庭の力だけではなく、地域や社会全体で家庭教育を支える環境づくりも必要であり、こうした認識のもとに、家庭と地域の教育力向上に関する方策について精力的に検討を行い、意見書としてとりまとめましたので、ここに別添のとおり提出いたします。

本意見書の趣旨を踏まえ、本市の家庭教育の支援及び地域の教育力向上の取り組みを的確かつ効果的に行うことにより、心豊かでたくましい宮っこの育成に資することができるよう、施策事業に反映していただくよう強く要望いたします。

事務局（生涯学習課長補佐）

それでは、ここで伊藤教育長よりご挨拶申し上げます。

伊藤教育長

一言お礼の挨拶をさせていただきます。

昨年の10月から4回、大変お忙しい中、協議を重ね、この意見書をいただきありがとうございます。

本年度は、市長も私も、「うつのみや教育改革元年」と申し上げます。

「うつのみや」という言葉を入れた趣旨は、「教育」といいますと、とかく学校教育だけの取り組みと考えがちですが、家庭の教育力、地域の教育力の問題、もっと平たく言えば、大人の教育力の問題、これを何とかしなければと思い、「うつのみや」と入れました。

こうした中、社会教育の専門の先生方から、このような貴重な意見をいただき、ありがとうございます。

全部は出席することはできませんでしたが、いろいろ報告を受けている中で、かなり激論が交わされ、具体的な提案もいただいたと聞いております。特に、役所に対して、居場所の問題、青少年の問題をあちこちの課でやっている、市民にとっては同じでなんとかせよということ、聞いております。

また、意見書を拝見しますと、かなりはっきり言っていたかと思っております。例えば、基本的考え方では「保護者の教育能力の向上」とかなりはっきり言っていたかと思っております。このような形の提言は、おそらく今までにないのではないかと思います。また、事業の推進に当たっての留意事項では、「親としての責任を常に自覚できるように工夫すること」や「これまで家庭教育に関心が低かった保護者等に対するアプローチを工夫すること」、「類似事業や他課事業との整合性に配慮し、連携・協力による効果的・効率的な運営に努めること」など、役所が事務局だとなかなかここまで書かないことが多いですが、はっきりと書いてあり、大変素晴らしい意見書だと心得ております。

具体的提案がはっきりしていますので、私ども教育委員会はもとより、市長部局とも、これからどうするのか考えていかななくてはならないと思っております。これを糧に、大人の教育力、家庭の教育力、地域の教育力がアップするように進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞ今後ともご指導のほどお願いいたします。

結びに、皆さまの更なるご健勝を祈念したいと思います。

これからの進捗状況の報告等もあろうかと思いますが、今後ともご指導ご支援いただきまして、簡単ですが挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

金子委員長

それでは、その他について、事務局からありましたら、お願いします。

事務局（生涯学習推進係長）

3点ございます。

まず、次回の会議開催予定は、10月上旬を予定しております。日程や議事については、後日ご連絡したいと思います。

また、例年7月になりますと、社会教育研究大会の案内が参ります。全国研究大会は富山市で10月18日から20日まで、関東甲信越静地区社会教育研究大会は新潟市で9月7日から8日となっております。開催要項が届きましたら、ご連絡して希望をお伺いいたしますので、よろしく願いいたします。

さらに、平成18年度県教育功労者表彰の受賞のお知らせですが、齋藤副委員長さんが社会教育委員在職35年ということで、6月15日の県民の日記念式典で表彰を受ける予定になっております。

金子委員長

皆さまから、他にご意見はございますでしょうか。

篠崎委員

感想も含めまして、教育委員会のリーダーシップをお願いしたいと思います。いろいろな提言があるかと思いますが、学校や地域、PTAなどを巻き込んで、柱を作り、責任やリーダーシップをもってできるのは、たぶん教育委員会しかないと思っています。

宇都宮の教育がどうなるかということについての責任を自覚していただきたい。

さきほど教育長からはっきりとした文言という話がありましたが、今までですと事務局のほうでうまく逃げてしまうようなことがみられたと思うのですが、そこを率直に受けていただいているという点もあります。これをうまく生かして、未来の宇都宮を作りたい。今変えたとしても、成果が出るのは、10年20年先だと思っています。ぜひ、私個人も応援しますし、ここにいるほかの皆さんも応援すると思っていますので、自負と自信を持って進めていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

齋藤副委員長

事務局のほうから、社会教育研究大会の案内がありました。

今、中央のほうで全国大会をどうするかということで運動をしております。富山は49回、次の長野で50回大会ということですが、今のところ50回の長野で補助金カットとなり、消えてしまいそうな状況です。

財政当局は補助金をなくすとは言っても、必要なものは必要です。残された期間で何とか積み立てたお金を取り崩してでも、存続をかけて、長野大会で終わりにしない努力をしておりますが、極めて厳しい状況です。

社会教育は組織としてあるから対応はできますが、姿を消してしまったら、もう一度作り直すのは大変な努力が必要です。今、一生懸命にがんばっているところです。

金子委員長

このほかは特にないようですので、これもちまして、本日の会議を終了したいと思います。

本日は、皆さまの意欲的な取り組みにより『家庭と地域の教育力向上に関する意見書』を提出することができました。重ねて、お礼申し上げます。

活発なご意見をいただき、誠にありがとうございました。